

三重県知事のベトナム・タイ訪問（1月15日）の概要について

一見知事は、令和7年1月14日（火）にベトナムに到着し、1月15日（水）には、「労働・傷病兵・社会問題省」及び「ハノイ工科大学」において外国人材確保にかかる覚書（MOU）を締結しました。また、県産品輸出促進のため、ハノイ市内の「イオン」で市場調査及び意見交換を行ったほか、現地進出企業等との交流会を開催し、現地事情などの情報交換を行いました。

1 労働・傷病兵・社会問題省との覚書（MOU）締結

（1）場 所 労働・傷病兵・社会問題省（ハノイ市内）

（2）出席者

（相手方）労働・傷病兵・社会問題省

副大臣 グエン・バー・ホアン

労働・傷病兵・社会問題省 海外労働管理局

海外労働管理局長 トーン・ハイ・ナム

在大阪ベトナム総領事館

総領事 ゴー・チン・ハー

（同席者）在ベトナム日本国大使館

特命全権大使 伊藤 直樹

（三重県）知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

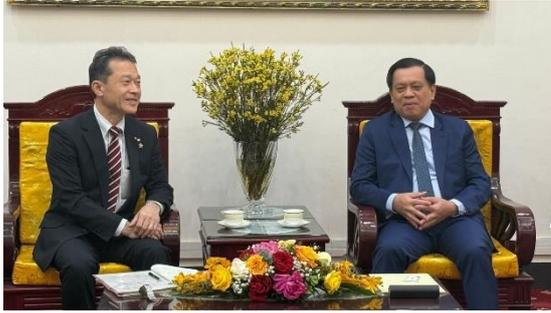
（市 町）桑名市

副市長 水谷 準 ほか

（3）概要

- ① ベトナム人技能実習生・特定技能労働者等を所管する労働・傷病兵・社会問題省海外労働管理局を訪問し、県内企業の現場で活躍できる人材の確保につなげるため、ベトナム人材の送出し・受入れに関する覚書を締結しました。
- ② ホアン副大臣からは、「今回のMOU締結により、今後もベトナム人材の送出しを拡大させていきたい。」「三重県で働くベトナム人労働者が働きやすい環境づくりを期待している。」との発言があり、本県との新たな関係構築を歓迎するとともに、本県への技能実習生等の送出し拡大に意欲を示されました。
- ③ 一見知事からは、「MOU締結を契機として、製造業、介護など様々な産業分野においてベトナム人労働者に活躍いただくとともに技能を身につけ、ベトナムの発展につくしていただきたい。また、県内で働くベトナム人労働者が安全・

安心に働き生活できる環境の提供を三重県知事として約束したい。」と述べました。



(ホアン副大臣との懇談の様子)



(MOUの披露。前列左から一見知事、ナム海外労働管理局長。後列左から4番目伊藤特命全権大使、5番目ホアン副大臣)

2 ハノイ工科大学との覚書（MOU）締結

(1) 場 所 ハノイ工科大学（ハノイ市内）

(2) 出席者

(相手方) 学長 フイン・クエット・タン ほか

(三重県) 知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

(市 町) 桑名市

副市長 水谷 準 ほか

(3) 概要

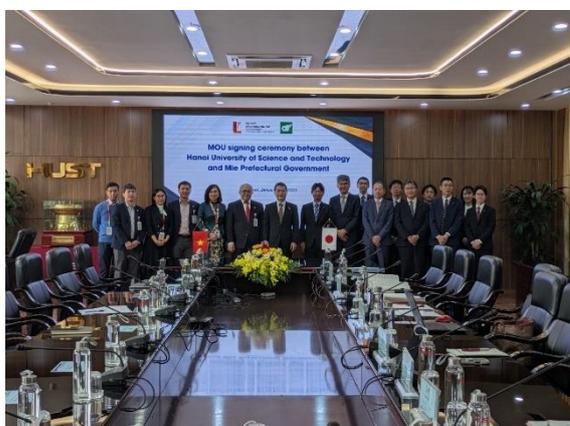
- ① 県内企業における専門技術・知識を有する高度外国人材の確保につなげるため、ハノイ工科大学を訪問し、三重県内企業におけるハノイ工科大学の学生の採用・就職支援等についての連携推進に関する覚書を締結しました。
- ② タン学長からは、「ハノイ工科大学から三重県企業に人材を輩出することにより、三重県企業がより発展できることを願っている。」「三重県との協力関係を通じて、ハノイ工科大学の学生が学びや成長の機会を得られることを期待している。」との発言があり、三重県との新たな関係構築を歓迎するとともに、三重県へのハノイ工科大学の学生の就職促進に意欲を示されました。
- ③ 一見知事からは、「ベトナムを代表する、アジアでも有数の理系大学とMOUを締結できることは非常に名誉なことであると考えている。」「ハノイ工科大学から、多くの優秀な学生が三重県企業に就職し、活躍してくれることを期待したい。」と述べました。
- ④ 意見交換の後、県内産業と親和性の高い、機械工学部の研究室を見学しました。



(意見交換の様子)



(MOUの披露。左からタン学長、一見知事)



(全体記念写真)



(研究室見学の様子)

3 ハノイ市内のイオンでの市場調査

(1) 場 所 イオンモール ロンビエン (ハノイ市内)

(2) 出席者

(相手方) イオンベトナム株式会社

営業責任者 (COO) 大泉 拓史

北部代表/ハノイ事務所長 西川 聡

イオンモールベトナム株式会社

代表取締役社長 中川 哲以

モール責任者 檜原 琢馬

(三重県) 知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

(3) 概要

① 2015年10月にハノイエリアの1号店としてオープンした「イオンモール ロ

ンビエン」を訪問し、売り場の視察及びイオンベトナム(株)大泉営業責任者らとの面談を行い、ベトナムにおける三重県産品の輸出拡大に向けた取組について意見交換を行いました。

② 一見知事からは、「三重県は、今後もお茶や果物などの輸出を強化したいと考えている。三重県で事業部長をされていた大泉氏には、県産品のベトナムにおける販路拡大にも力を貸していただきたい。」と依頼しました。

③ 西川氏からは、「ベトナムへの販路拡大については、現地の食品輸出にかかる規制や、気候や流通事情を踏まえた戦略が必要である。」と助言いただきました。



(売り場視察の様子)



(意見交換の様子)

4 現地進出企業との交流会

(1) 場 所 ホテル・デュ・パルク・ハノイ (ハノイ市内)

(2) 出席者

(三重県) 14名

知事 一見 勝之 ほか

(経済団) 18名

三重県商工会議所連合会 ほか

(市 町) 2名

桑名市

副市長 水谷 準 ほか

(ベトナム進出企業等) 28名

(3) 概要

① ベトナムで活躍する本県に縁のある方々との交流会を開催し、今後の本県とベトナムの関係発展に向けた意見交換を行いました。

② 冒頭、一見知事から「この場に多くの三重県人、三重県に縁のある方にお集まりいただいた。三重県が一体となってベトナムでのビジネスを成功させてい

くため、経済界の皆様と力を合わせて取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

- ③ 参加者はベトナムのトレンドやビジネス環境、ベトナム進出の経緯などについて活発に意見交換を行っていました。
- ④ 経済団団長の三重県商工会議所連合会の伊藤会長が締めめの挨拶を行い、交流会を終了しました。



(集合写真 前列左から、
三重県産業支援センター 更屋理事長、
三重県経営者協会 伊藤様、
三重県商工会連合会 安藤会長、一見知事、
三重県商工会議所連合会 伊藤会長、
三重県 松下雇用経済部長、
桑名市 水谷副市長)

(挨拶する一見知事)